

千綿っ子だより

ちからを合わせて
わらい声あふれる
たのしい学校



去年とちがう夏休み

1学期の終業式を行いました。早く梅雨が明けた今年度は、いつもと違って早くから外遊び等を制限せざるを得ない状況でした。なかなか、思いっきり遊ぶことができない子供たちでしたが、教室をのぞくと、本を読んだり粘土遊びをしたり、タブレットで学習を進めたりする様子が見られ、それぞれに工夫をしていました。以前は「雨の日の遊びを考えよう」というテーマで学級会を開いていましたが、今は「晴れの日の安全な遊びを考える」時代になりました。今年の夏休みも暑さが大変心配ですので、くれぐれも事故がないことを願っています。

さて、今日は、子供たちに次のような話をしました。

明日から、長い夏休みになります。夏休みを前に、校長先生はみなさんにお話ししたいことがたくさんあります。交通安全をしっかり守って命を大切にしてほしいこと、休みだからといってだらだらずに規則正しい生活をしてほしいこと、勉強を頑張してほしいこと、体を鍛えてほしいこと、本をたくさん読んでほしいこと、お手伝いをしてほしいこと、虫歯をなおしてほしいことなど、たくさんたくさんあります。

でも、今日はそんなにたくさんお話ができないので、校長先生からは1つだけお話をします。

「去年と違う夏休み」というお話です。

夏休みは、44日間もあります。長い夏休みですが、何もしなければ何も変わらない夏休みになります。「宿題もお勉強もしなかった」「本も読まなかった」「お手伝いもしなかった」「図工も習字もしなかった」「毎日、テレビを見てゲームをしていた」「楽しくなかった。だって、おうちの人がどこにも連れて行ってくれなかったもん」とならないようにしてください。どこかに出かけたり旅行に行ったりするだけでなくが夏休みではありませんね。

自分がやろうと思えばやることはたくさんあります。「今年は本をたくさん読んだよ」「読書感想文を書いたよ」「初めて自由研究をやったよ」「家族で決めたお手伝いを毎日やり通したよ」「日記を毎日かいたよ」などなど、私はこれを頑張ったよ、ぼくはこれに挑戦したよというように、みんなが「今年の夏休みはこれをがんばった」といえる夏休みにしてほしいと思います。

長い休みを利用して、子供たち自身が何か1つでも頑張った、やり遂げたといえるように背中を押してあげてください。自分の頑張りが成長を実感させて2学期を迎えてほしいと思います。9月1日、「さあ、2学期も頑張るぞ」というやる気いっぱいの子供たちに会えることを楽しみにしています。

また、休み明けの生活と、夏休みの生活のリズムが大きく違うと、子供たちは元のリズムに戻るのにエネルギーを使ってしまって、2学期途中で心と体が悲鳴をあげることがあります。ぜひ、いつもと変わらない規則正しい生活を心掛け、楽しい夏休みをお過ごしください。

